

令和5年度 行政評価の実施結果

1. 行政評価の目的

千曲市では、「①評価結果の公表による行政運営の透明性、信頼性の向上」「②経営感覚・コスト意識の醸成や事務事業の見直し・改善等による行政資源（職員、事業費、施設）の効果的で適正な配分」「③総合計画の進行管理と実施計画・予算への反映」「④職員の意識改革による地方分権への的確な対応」を目的に、平成19年度から実施しています。

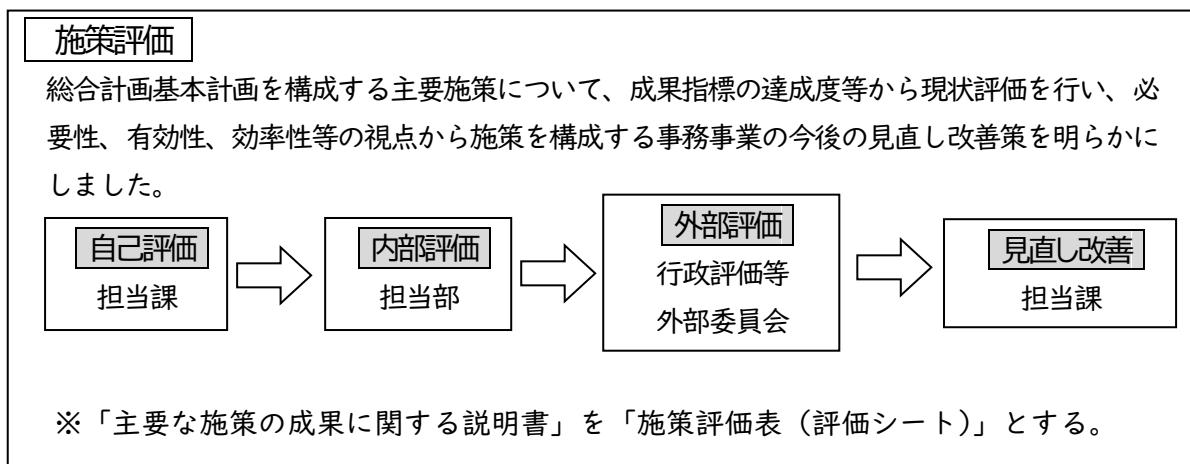
第三次千曲市総合計画に基づく行政評価を実施するにあたり、これまで外部評価委員のご意見や監査委員のご指摘を踏まえ、施策の成果や課題、改善点を明らかにした簡潔でわかりやすい評価方法へと見直しを行い、PDCAサイクルでいう「C（評価）」と「A（改善）」の部分の改善を図りました。このPDCAサイクルを適切に回すことにより、予算や行政資源の最適化を図っていきます。

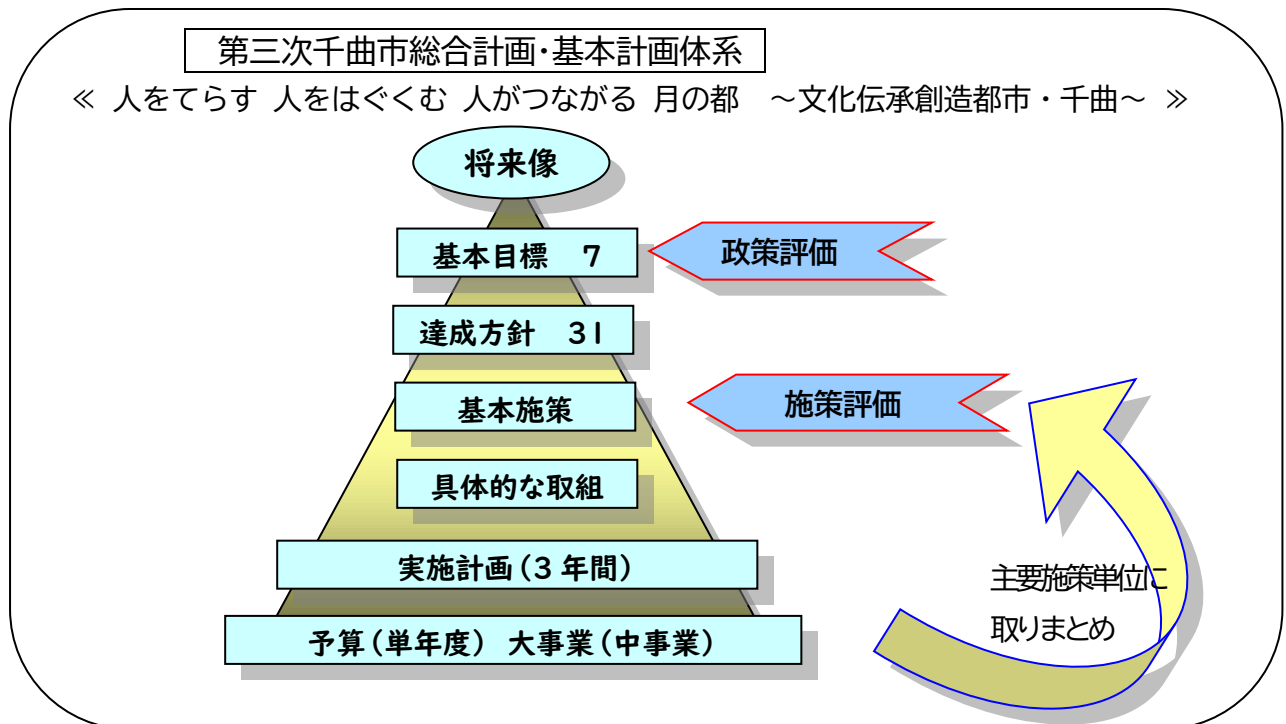
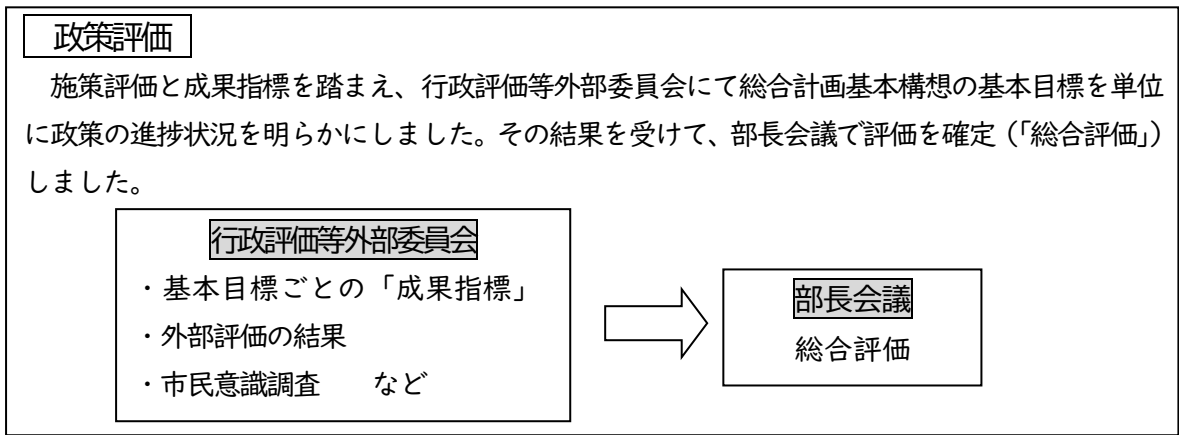
2. 評価対象（施策評価対象事業は「主要な施策の成果に関する説明書」記載事業）

施策評価は、第三次千曲市総合計画を踏まえて決定した「平成4年度施政方針」の中から、重点施策に掲げた8施策37事業とその他の主な事業に掲げた15事業の、計8施策52事業を対象としました。

政策評価は、第三次千曲市総合計画の基本構想に掲げた基本目標7項目を評価の対象としました。

3. 評価手順





4. 施策評価

(1) 自己評価

基本計画の主要施策について、各担当課で施策評価表（主要な施策の成果に関する説明書）を用いた自己評価を行いました。

また、『成果指標』の達成状況から現状の評価を行い、事業の「必要性」「有効性」「効率性」などの観点から課題を総括し、今後の改善策を明らかにしました。

(2) 内部評価

担当部で自己評価を検証し、施策の進捗状況や課題などを踏まえ、期待と成果の観点から現状評価を行い、特筆すべき成果や課題、今後の改善点・方向性などについて総括しました。

(3)外部評価（「別紙1」のとおり）

評価の客観性をより高めるため、行政評価等外部委員会において内部評価を検証しました。委員が選定した8事業について、施策の進捗状況や課題等から現状評価を行い、課題や今後の改善点・方向性等についての委員の意見を取りまとめました。

5. 政策評価

(1)外部評価（「別紙2」のとおり）

行政評価等外部委員会において、施策評価や成果指標などを踏まえ、第三次千曲市総合計画に掲げた基本目標ごとの進捗状況を明らかにし、委員の意見を取りまとめました。

(2)総合評価

外部評価を踏まえて、部長会議において政策に対する現状評価を決定し、政策の進捗状況を確定しました。

6. 総合評価(令和6年2月5日部長会議)

- 第三次千曲市総合計画下での最初の行政評価において、成果指標では未だコロナ禍の影響を受け達成率が伸び悩んだ指標があった一方、アフターコロナに向けて堅調に達成率を伸ばした指標もあった。全体平均では7割を超える達成率となったことから、「比較的順調」であるといえる。
- 市の重要施策のひとつである人口減少・少子高齢化対策において、社会増をはじめ数値が上昇・改善された指標については、従来からの取組みが着実に成果に結びついているといえる。他方、実績が悪化・低調な指標については、課題の洗い出しや事業見直しを行うとともに、市民・事業者のニーズや行動の変化を意識し事業に取り組んでいく。
- 達成率が低い指標については、目標値を5年間の累計値を設定しているものもあることから、次年度以降の推移を注視し、さらに踏み込んだ考察や評価を行っていく。
- 今後も各事業においてPDCAサイクルを常に意識し評価・改善を継続して行うとともに、市民感覚、民間感覚を大切に、スピード感をもって事業を遂行する。

7. 行政評価の活用

(1)PDCAサイクルの確立

P(計画) D(実行) C(評価) A(改善)サイクルを確立し、明らかになった事務事業の課題や見直し改善策の着実な実施に努めます。

(2)評価結果の公表

行政運営に対する透明性、信頼性を高めるため、庁舎窓口やホームページなどを通じて広く評価結果を公表します。